

自由民主党  
京都市会  
議員団ニュース



平成21年(2009)7月1日発行  
 ■発行人/田中セツ子 ■編集長/山元あき  
 〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
 TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091  
 http://jimin-kyoto.jp/

No.27

# 10年来で最大

# 「補正」三つの柱

京都市会では5月定例会において平成21年度補正予算を決定、さらに6月臨時会で国の追加経済対策に盛り込まれた交付金などを活用した3百億円を超える補正予算案を審議致しました。これは次の3つの柱からなる、過去10年で最大規模の補正予算案です。

①「産業・観光振興、金融・雇用対策など京都経済を支える施策」  
 ②「市民生活の安心安全と子育て支援・学校の充実」

③「DO YOU KYOTO? 環境モデル都市・京都」の推進

## 全力で政務調査活動に取り組んでいます



市会議場正面に勢ぞろいした自由民主党京都市会議員団

自民党市会議員団は、緊急の課題に迅速かつ機動的に対応すべく、全力で取り組みを進めております。「議員団ニュース」につきましては、引き続き私たちが

ちの考えを市民の皆様にお伝えするとともに、皆様からのご叱正を賜りたいと思っておりますので、何とぞよろしくお願い致します。(4面に関連記事)



## 皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい

〒604-8571  
 京都市中京区河原町御池  
 自民党京都市会議員団  
 jimin3@nifty.com FAX.257-3091

- 自民党京都市会議員団 選出行政区順
- 寺田一博 (上京区)
  - 中村三之助 (上京区)
  - 山本恵一 (北区)
  - 加地浩 (北区)
  - 小林正明 (北区)
  - 卷野渡 (左京区)
  - 大西均 (左京区)
  - 加藤盛司 (中京区)
  - 津田大三 (中京区)
  - 内海貴夫 (東山区)
  - 富きくお (山科区)
  - 吉井あきら (山科区)
  - 下村あきら (下京区)
  - 田中セツ子 (南区)
  - 井上与一郎 (右京区)
  - 田中英之 (右京区)
  - 山元あき (右京区)
  - 田中明秀 (西京区)
  - 西村義直 (西京区)
  - 高橋泰一朗 (伏見区)
  - 繁隆夫 (伏見区)
  - 橋村芳和 (伏見区)

第75代京都市会議長

# 繁 隆夫

平成21年5月市会定例会において、一〇〇年の歴史と伝統ある第75代市会議長に就任させていただきました。

地方分権の進展、市民の皆様の要望の多種多様化・高度化に伴い、執行機関との相互の抑制と均衡により京都市政の運営を担う議会が果たす役割はこれまでになく大きくなってきました。

こうした状況の中、京都市会として、これまで以上に市民の皆様の信頼と負託に応

## 政策を提案していく存在に

に取り組んでいく必要があります。議員一人ひとりの政策立案能力の更なる向上等に努め、市民意見を的確に反映した政策立案機能や調査機能を発揮し、開かれた魅力ある市会づくりを進めていくことが重要であると考えております。

今後とも更なる市政発展のため、門川市長と良い意味での緊張関係を保ちつつ、自民党京都市会議員団をはじめとする市議員とともに誠心誠意全力を傾注してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

自由民主党  
京都市会議員団長

# 田中セツ子

新型コロナウイルスの感染拡大は、京都市においても感染者が確認されるに至り、小中学校、大学の休校など、市民の皆様の日常生活に大きな支障が生じたところであり、す。加えて、市内の中小企業、とりわけ観光業界の方々には甚大な損害をもたらしました。修学旅行のキャンセルが相次ぎ、その損失額は20億円にもぼると言われています。私たちが自民党京都市議員団と致しましては、引き続

## 市民の信頼に応える第一党

また、現在、京都市の財政は危機的な状況にあることはご承知のとおりかと存じますが、このようなときこそ、私たち議員団は門川市政を支える責任ある市会第一党として、市長と共に知恵を絞り、さらには市民の皆様のお知恵もお借りしながら、一体となつてこの難局を乗り越えなければならぬと考えています。私たちに對する厳しいご意見、ご批判を厳粛に受け止め、総力を挙げて市議会で活発な議論を行い、市民の皆様からの信頼にこたえて参ります。

# 京都駅南口広場整備急げ

## 年度内に計画策定

### 未来まちづくりプランに

田中セツ子議員 (南区)

田中セツ子議員 (質問) J

R 京都駅南口駅前広場の整備



市民、観光客からも整備が待望されている京都駅南口駅前広場

は、これまで何度となく計画を策定すると言われながら、いまだ実現しておりません。駅前複合商業施設の「ヴィノワ」が開業されるにもかかわらず、

## 市立看護短期大学4年制化問題多い

田中セツ子議員 (質問) 市

長は突然「佛教大学との公民協力により、市立看護短期大学を4年制化する」と発表されましたが、要するに、看護短期大学の廃止と佛教大学の新設する看護学科へ教員の引き継ぎです。市民・関係者の意

京都駅の南口駅前広場整備は、京都市民はもとより観光客も待望しておられます、必ず実現させるという強固な決意のもとに、京都未来まちづくりプランに盛り込みました。広く意見を聴きながら、今年度中に計画を策定し、南部地域のまちづくりの促進につながる駅前広場を不運転の決意で実現して参ります。

見を聴かず、候補大学の公募もせず、また、佛教大学の入学生だけを対象とした奨学金制度を創設するなど、公平性や透明性に欠け、問題が多くあります。市長として説明責任を果たすべきです。

門川大市長 (答弁) 市立

市立看護短期大学の4年制化は早期の取組が必要ですが、学生確保が厳しい状況下では私学との競合ではなく共存・共栄を考へていくことが重要です。佛教大学だけが看護短期大学の教員の受け入れと一からの教育システム構築が可能であることが明らかとなり、基本合意に至ったので、直ちに発表しました。今後、佛教大学の建学精神と看護短期大学の伝統やノウハウを融合させ、より高度な教育環境を提供して参ります。奨学金は、他の私学の4年制看護学科生も対象とするよう検討をして参ります。

# 代表質問

5月  
定例会市会

## 田中セツ子議員の質問項目

- ・ 平成21年度の組織改正
- ・ 人材活性化策と職員のモチベーション向上策
- ・ 市立看護短期大学の4年制化
- ・ ごみ収集業務のサービス維持と改善
- ・ 京都駅南口駅前広場の整備
- ・ らくなん進都の今後の取組
- ・ コミュニティセンターの見直し

# 「らくなん進都」の今後の取り組み

**田中セツ子議員**（質問）油小路沿道を中心とするらくなん進都は、南部創造のまちづくりの先導地区として、幹線道路などの都市基盤整備や企業立地は一定の進展が見られますが、緑も少なく殺風景で、公共交通の利便も十分とは言えず、開発が遅れている印象

を受けざるを得ません。市民も目に見える変化を期待しております。新たなまちづくりの具体的な取組についてお答え下さい。

**門川大作市長**（答弁）らくなん進都においては、ものづくり拠点の顔を見せつつありますが、うるおいに満ちた都

市空間の創造や公共交通の充実という点では、今なお課題が残されています。新たなまちづくり推進プログラムに具体的な成果目標を掲げ、企業立地の促進はもとより、街路樹の充実や新たな緑化助成等による魅力的なまちなみの創出、京都駅と直結するバスの導入などの取組を進めて参ります。

# 市民や観光客に安心感を

及び京都を訪れる観光客の方々に安心していただく必要

があります。いかがですか。

**門川大作市長**（答弁）本市

# 新型インフル 常に備え万全 積極果敢に最善の対応

**加地 浩議員**（北 区）

**加地 浩議員**（質問）新型

インフルエンザ対策について、先々のことも含めて、万全の準備・対策をとり、市民



電話の対応に忙しい24時間対応の発熱相談センター

では、平成17年度からいち早く新型インフルエンザ対策に取り組み、本年4月には政令市で初めてとなる「京都市新型インフルエンザ対策マニュアル」を策定するなど、今日の事態が生ずる前か

## 加地浩議員の質問項目

- ・ 新型インフルエンザ対策
- ・ 里親への支援
- ・ 国民健康保険事業の運営
- ・ 「環境モデル都市・京都」の地球温暖化対策
- ・ 「木の文化を大切にすまちな京都」の実現
- ・ 不登校対策
- ・ 情報モラル教育

ら万全の備えを進めて参りました。今回、私を本部長とする危機管理本部を立ち上げ、危機管理体制に移行するとともに、京都市立病院において発熱外来を開設し、併せて発熱相談センターの電話回線の増設、検査体制の充実を図りました。

また、市内10箇所の医療機関を新型インフルエンザ協力病院として確保しており、今後の状況の変化にも対応でき

る万全の備えを行っております。今後とも全職員一丸となつて、市民と観光客の皆様とのちと健康をしっかりと守り、御安心いただけるよう、積極果敢に、最善の対策を講じて参ります。

## レスパイト・ケア 早期実現を望む

**加地 浩議員**（質問）里親の一時的な休息・息抜きの制度として「レスパイト・ケア」

**加地 浩議員**（質問）子ども

## 情報モラル教育 一層の充実を図る

の実現のためには、子どもを別のところで安心して預けられることが必要となりますが、関係者とも十分調整して、早期に実現できるよう取組んでいただきたい。

**今井豊嗣子育て支援政策監**（答弁）議員ご指摘のとおり、里親登録者を拡大していくためには、積極的な市民への広報等に取り組みとともに、本市による支援の仕組みを一層充実させる必要があると認識しており、里親の皆さんにゆとりを持って児童の養育をしていただけるように、一時的な休息のための援助であるレスパイト・ケアについて年内に実施できるよう取り組んで参ります。

もたれをインターネットの被害者にしないのと同時に、被害者にもしないため、学校における情報モラル教育のより一層の充実が、強く求められていると考えます。

**高桑三男教育長**（答弁）「情報モラル指導カリキュラム」と、具体的な指導例を示したモデルを作成するとともに、家庭・地域でも簡単に活用できるようホームページに掲載致しました。今後とも、小学校4年生から高校生までの児童生徒・保護者に配布している携帯電話の利用の注意点をまとめたリーフレットの活用と合わせて、家庭・地域との連携を一層深め、子どもたちに「情報を正しく安全に利用する力」を育てる情報モラル教育を推進してまいります。

## 自民党議員の所属委員会

委員会	常任委員会				市会運営委員会		予算・決算特別委員会	
	経済総務	くらし環境	教育福祉	まちづくり	交通水道	まちづくり	普通	公営企業等
委員長			津田大三		小林正明		田中英之	
副委員長	田中明秀	吉井あきら		西村義直			山本恵一	寺田一博
委員	加地 浩	内海貴夫	津田大三	井上与一郎	加藤盛司	加地 浩	大西均	内海貴夫
	田中明秀	大西均	富きくお	繁 隆夫	小林正明	津田大三	井上与一郎	加藤盛司
	田中英之	田中セツ子	中村三之助	寺田一博	下村あきら	寺田一博	田中英之	小林正明
	橋村芳和	吉井あきら	山元あき	西村義直	高橋泰一朗	橋村芳和	田中英之	下村あきら
				巻野 渡	巻野 渡	巻野 渡	津田大三	高橋泰一朗
							橋村芳和	寺田一博
							山本恵一	巻野 渡
								吉井あきら

## 下村あきら氏が自民党市会議員団に

西脇尚一自民党市会議員の急逝に伴う京都市会議員下京区補欠選挙が3月29日に投開票され無所属新人の下村あきら氏が初当選、4月14日付で自民党市会議員団に入会しました。

# 市民の暮らしに直結!!

# 300億円超す

# 6月補正予算成立

京都市会では6月22日に臨時会が招集され、国の追加経済対策に盛り込まれた交付金などを活用した300億円を超える補正予算案について審議致しました。今回の補正は昨春秋以降の経済危機への対応、新型インフルエンザが及ぼしている影響への速やかな対策などを柱としたもので、定額給付金の支給などすでに実施中の施策に加えてさらに具体的な景気対策を実行するというものです。景気対策の補正予算を早期に成立させるために6月に臨時会が招集されたのは52年ぶり、また、300億円を超える補正額は過去10年間で最大規模のものとなっています。

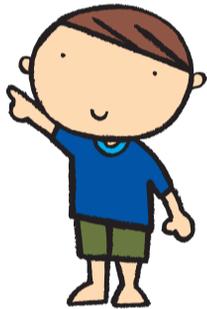
## 今、ここにある“危機”と“不安”から脱出!!

### ○子育て応援特別手当を第1子にも支給

(平成21年度のみ)

小学校就学前3年間の子(平成15年4月2日～平成18年4月1日生まれまで)を対象として一人あたり**36,000円**の手当を支給。

平成20年度2月補正予算では対象者が第2子以降と限定されていましたが、対象年齢を第1子にも拡大して改めて実施されます。



### ○特定不妊治療費助成の拡大

治療にかかる助成限度額が1回10万円→**1回15万円**に引き上げられます。

(助成は年度あたり2回まで、通算5年度まで利用できますが、限度額の引き上げは平成21年度に限った措置です)



### ○高等技能訓練促進費の拡充(母子家庭に対する資格取得支援)

母子家庭の母の自立のための職業資格取得に係る給付費の支給額を引き上げるとともに、平成23年度までに修学している方については、支給対象期間を修学している全期間に拡大します。

給付額：市民税非課税世帯

月額103,000円→月額**141,000円**

市民税課税世帯

月額 51,500円→月額 **70,500円**

給付期間：修学期間の1/2→**全期間**

### ○新たに始まる「学習支援給付」

生活保護世帯の子どもへの参考書などの購入やクラブ活動に要する費用を平成21年7月分から給付開始します。

学習支援費	一人当たりの月額
小学生	2,560円
中学生	4,330円
高校生等	5,010円



## 女性や子育て世代を応援します

今回の補正予算では市民の皆様の生活支援に直結する具体的な施策が数多くありますが、その中から特に子育て世帯や女性に対する支援を中心に紹介いたします。

### ○女性特有のがん検診の推進

特定の年齢に達した女性に対して子宮頸がん及び乳がん検診について**無料受診券**と**検診手帳**を送付、女性特有のがん検診の受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発を行います。

(無料受診券の有効期間：平成21年8月1日～平成22年3月31日、ただし、平成21年4月1日まで遡って適用されます)

対象年齢(平成20年度中に下表に示す対象年齢になった女性)



	年齢	生年月日
子宮がん検診	20歳	昭和63年4月2日～平成元年4月1日
	25歳	昭和58年4月2日～昭和59年4月1日
	30歳	昭和53年4月2日～昭和54年4月1日
	35歳	昭和48年4月2日～昭和49年4月1日
	40歳	昭和43年4月2日～昭和44年4月1日
乳がん検診	40歳	昭和43年4月2日～昭和44年4月1日
	45歳	昭和38年4月2日～昭和39年4月1日
	50歳	昭和33年4月2日～昭和34年4月1日
	55歳	昭和28年4月2日～昭和29年4月1日
	60歳	昭和23年4月2日～昭和24年4月1日

### ○待機児童解消へ…保育園整備を行います

保育所待機児童解消のために保育所の新設、増改築を行い保育所定員の拡大を図ります。

行政区	保育所名	定員	整備完了年度
下京区	西七条保育園	120名→150名	平成22年度
南区	東和保育園	60名→90名	平成22年度
伏見区	淀白鳥保育園	120名→140名	平成21年度
伏見区	フジの会保育園(仮)	60名(新設)	平成22年度

